



# 11月の園だより

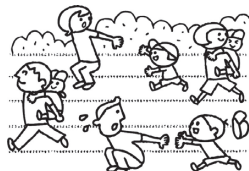
太陽の子保育園 2024年11月

11月に入り、朝晩は寒さが感じられるようになってきました。気温の低い日も多くなりましたが、子どもたちは寒さに負けず、元気に走り回っています。

これから実施する個別面談（らいおん組のみ先行して実施）では、4月当初から約半年間のお子様の園での様子や活動を、限られた時間ではありますがお話しをさせていただいています。面談を通じて、成長をより一層感じていただければと思っています。すでに面談を終えた保護者の皆様につきましては、お忙しい中お越しいただきありがとうございました。

これからもたくさんの楽しい行事を控えています。気候の変化で体調を崩しやすくなってきますが、早寝・早起きなど生活リズムを整え、元気に登園していただければと思います。

## 運動会へのご参加 ありがとうございました



運動会ではたくさんの方にご参加をいただき、ありがとうございました。4月から半年間で、心身ともに成長したお子様の姿に感慨もひとしおだったのでは…そんな子どもたちも1月のSUN太お楽しみ会に向けて頑張っています。さらに成長した子どもたちの姿を楽しみにしててください。また、アンケートにもご協力をいただきありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見は、来年度の運動会の参考にさせていただきます。

## もちつき大会 (11/29) つき手を大募集 !!

11月29日（金）に実施する「もちつき大会」でつき手としてご協力いただける幼児クラス保護者の方を募集しています。詳細は後日配布するお便りをご覧ください。



## 11月の予定

- 5(火) 懇談会(ひよこ)
- 6(水) 懇談会(ぺんぎん)
- 7(木) 保育参加・懇談会(うさぎ)
- 11(月) 避難訓練
- 11~15 身体測定
- 12(火) 体育指導(幼児)
- 13(水) 秋の健診(全園児)
- 14(木) 調理保育(ぱんだ)
- 15(金) お誕生日会
- 19(火) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 20(水) 保育参加・懇談会(くま)
- 21(木) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 22(金) 調理保育(らいおん)
- 27(水) 音楽指導(幼児)
- 29(金) もちつき

## 12月の予定

- 2(月) 職員園内研修
- 3(火) 体育指導(幼児)
- 7(土) はむら保育展
- 9~13 身体測定
- 11(水) 音楽指導(幼児)
- 14(土) 大掃除
- 17(火) 調理保育(らいおん)
- 18(水) 避難訓練
- 20(金) 職員会議
- 20(金) お誕生日会
- 25(水) 音楽指導(幼児)

## はむら保育展

12/7(土) 10:00~16:00  
会場：ゆとろぎ

年齢別の部屋とあそびの部屋、保健の部屋・栄養士会コーナーと6つの部屋を設置します!! どの部屋も楽しくあそびながら子育てに役立つ情報が得られるようになっていきます!! また13:30より大ホールにて「わくわく親子コンサート」として、ホップの会(男性保育士の会)による劇やコンサートも行います。今年度の保育展は、ぺんぎん組の深堀萌々香が担当となります。

## 幼児期の子育てでたいせつなことは 子どものプライドを尊重した対応

「3~6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる」 汐見稔幸著 主婦の友社より抜粋



### 幼児期は仲間から認められたい時期

幼児期の大きな特徴は、親から離れて友だちとかなり長い時間、遊ぶことができるようになることです。

友だちをほしがるようになり、それがさらに発展して、集団の中の一員として遊ぶことができるようになります。そして、自分のやっていることが他人にどう見られているか、ということまで関心を持つような自我や知性が急速に育っていきます。

子どもにとって、2歳くらいまではお母さんやお父さんにたいせつにされ、家庭の中で大事にされることが最重要でしたが、幼児期になって集団で遊ぶようになると、その集団の中で自分が認められることもたいせつになってきます。

### いろいろな運動ができると 子どもは喜びを感じる

また、4~5歳を過ぎるころには「失敗してカッコ悪いのはいやだな」という思いが出てきて、これまでのように何でも無邪気に挑戦することができなくなります。そんなときも、「そういう時期なのね」と発達段階を理解していれば、「いままでは挑戦していたのに、どうしてやらないの?」と無神経にしかったりすることもないでしょう。「やりたくないときもあるわよね」と子どものプライドを傷つけないように共感して、「だれでも最初は失敗するんだから、やってみたら」とじょうずに励ましたりもできます。幼児期は身体能力が伸びて、活発になる時期でもあります。全速力で走ったり、木に登れるようになったり、スキップもできるようになります。

人間にはひとつの能力がついてくると、それをもっと伸ばしたいと本能的に行動します。走れるようになったらどこまでも走りたい、鉄棒のさか上がりができるようになると何度もやりたい。自分の可能性を自分でどんどん伸ばしていくわけですから、それを応援すればいいだけです。

### 5~6歳の反抗期は 運動不足の欲求不満から

最近、5~6歳の子どもが反抗期で困るというお母さんが多くなりました。反抗期というのは2歳ごろに自我が育ってきて、何でも自分でやりたいのにやってみるとうまくいかないイライラや、赤ちゃん扱いされることへの反発で、扱いがむずかしくなる時期のことをさします。4~5歳ともなれば聞き分けがよくなり、一般的には反抗期も終わっているはずですが。

しかし、現在の子育て環境は、思いきった遊びをさせることがむずかしくなっています。子どもは、たくさん体を動かしたい時期なのに動かさないことに欲求不満になり、反抗的になってしまうのです。

そんなとき、子どもの発達を理解して、なぜ反抗的になるのかがわかれば、「もっと外で遊ばせてやればいいんだ」という解決策も見えてくるので、子育てはぐっとラクになります。

### 子育てで子どもは変わる。 「発達」を理解していいいな子育てを

発達は少しずつ少しずつ進んでいくので、すっ飛ばしていきなりむずかしいことができるようになるわけではありません。子どもに対して、「どうしてその程度のことかわからないの?」「もっとちゃんと勉強しなさい」と言って通じるには、考える力が大人と同じ程度になっていることが必要で、そうなるのはだいたい15~16歳以降です。あと10年以上は時間がかかりますね。まわりに子どもがたくさんいれば、いろんな年齢の子どもたちを見て、「4歳ではできなかったけれど、6歳くらいになればすんなりできるのね」と自然にわかるものです。でも、いまはそれがむずかしい。発達のおおまかな道すじを押さえておくことは、その意味でもとてもたいせつなことです。ぜひ子どもの発達を理解して、無理のない子育てをしてください。